

町政を問う



鈴木 一夫 議員

スクールニューディールの利点は？

財源内訳が大きく変化し有利

矢吹中学校 改築事業について

鈴木 スクールニューディール構想によって中学校建設の概要は、どう変化するのか。また、6月に3回開催された町民説明会の反応をどうとらえているか。今後中学校改築事業に対して、どのように情報を公開していくのかと共に中学校の見学を実施したらどうか。合せて、今後も財政再建3ヶ年計画の手綱を緩めることなく町政を執行することが必要であるが、その方向性を伺いたい。

町長 改築の総事業費31億2000万円は変更しておりませんが、これまでの計画と財源内訳が大きく変わってまいります。まず国庫補助金が1億7000万円の増額が見込まれます。また臨時交付金を7億7000万円見込むため、町負担が約9億4000万円程度軽減される見込みです。よって起債が8億8000万円減額され、この計画の起債は約10億7000万円、その6割が地



改築予定の矢吹中

方交付税で補てんされるので、起債元金は4億3000万円程度を見込んでいます。又、一般財源は既に中学校整備基金に3億を積み立ててありますので、新たに1億5000円を確保することで建設ができる見込んでいます。次に、各説明会における町民の皆様の反応については、おおむね建設に賛成のご意見だったと受け止めております。なお、情報の公開につきましても、基本設計をベースに検討委員会を組織し対処する考えであります。

子ども夢プランについて

鈴木 安心して子育てができる環境づくりと経済的負担の軽減、特に一人親家庭に対する支援の充実を強く望むものであるが、町の取り組みを問う。さらに、子供の視線で町づくりに参加できるシステムづくりを提言するものであるが町長、教育長の考えを伺う。

町長 子育て支援につきましても、まちづくり総合計画に町の施策としまして、ファミリーサポートセンターをスタートさせ情報誌の発行に加えて、先日、子育て支援センターを開設し、子育てに取り組んでいる家族を応援しているところです。また県が展開しているうつくしま夢プランとも合せて、今年度、矢吹町次世代育成支援行動計画（後期）の準備を進めているところであります。



開設された子育て支援センター

教育長 矢吹町の子供が矢吹町の将来、未来に一層夢、希望を持てるように、提言や意見、要望、そういうものを子供達から出してほしいなと考えております。そして、希望に満ちた町づくり、子供達と共に教育委員会も夢や希望を持って進んで行きたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

町政を問う

意見広告どう受けとめる!



青山 英樹 議員

町民説明に力を入れていく

中学校建設、町民の声をどう考えるか

青山 去る5月24日の新聞折込で「矢中新築に係るアンケートの結果報告が意見広告として出されたが、この結果をどのように受けとめられるのか。賛成意見と反対意見への所感、また意見広告で主張されている6つの疑問点（現在の場所「矢中」一つに31億もの巨費、町民の負担を倍加、ゼネコン受注の工事、鉄筋コンクリート3階校舎、説明責任）を踏まえ、紙面にあった「町長が実践する町政」のギャップに対する見解をお示し願う。

町長 3回にわたる意見広告、その間に行なわれたアンケートなど、町政に関心をお寄せいただき、深くお考えいただいていることにつきましては大変ありがたいと思い、ご意見として真摯に受け止めているところであります。アンケート調査につきましては、方法は標本調査ではなく、悉皆調

査に近いものと思われることから、回答された町民の方が少なく、その集計結果をそのまま町民総意と受け取ることは難しいのではないかと考えております。中学校整備については、

財政再建の取り組みに合せてできるだけ機会を設け、説明してきたものと考えておりますが、十分でないところのご意見もいただいておりますので、今後より多くの機会に説明を尽くしてまいります。私の理念は、「町民主役の町政、対話の町政」にかかわることはなく、町民の皆様が要望すべてに答えることができないことからすれば、不足はあるもののギャップがあるなどとは全く考えておりません。ぜひとも議員の皆様にもご協力をいただき、一層のご理解を深めていただくよう町民の皆様にご説明してまいります。



矢吹中基本設計の模型

高齢化社会対策について

青山 全国世論調査結果では、多くの国民が「社会保障制度の充実」を望んでいる。また、少子高齢化が進む中、当町でも要支援、要介護者が年100人にも達する勢いで増えつつある。町内の介護施設の数や許容者数は万全か。国策の動向も注視されるが、地域主権のもとに将来を見据え、早期の見通しと対策が肝要でありそのビジョンを問う。

町長 議員ご指摘の通り、矢吹町においても高齢化が進んでおり、平成27年には、団魂の世代の皆様が65歳を迎えることでより一層高齢化が進展することが見込まれております。町としてもこの対策として、平成26年度を目標年度として、矢吹町第4期介護保険事業計画を策定させていただきました。この計画では、介護予防・保健教室の充実により認定者の増加を抑えるとともに、介護が必要な高齢者には十分な質と量を持った介護サービスを提供できる環境を整備していかねばと考える、老人保健施設115床、グループホーム2カ所、定員36名を整備することとしております。

今後、介護サービスの利用状況等を考慮し、十分な介護サービスを提供できるよう事業計画を見直してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。